

海外英語演習

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 講師		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
担当教員	柳谷 千枝子 講師、Jonathan Levine-Ogura 助教、 松田 竜宙 助教、Robert Ken Asano 助教		
対象学年	1, 2, 3, 4, 5, 6	区分・時間数	約 2 週間
期間	後期		

・学修方針（講義概要等）

英語圏の国に短期間滞在し、大学または語学学校の教師による集中的な語学の授業を受ける。授業においては、日常会話に役立つ表現や文法事項などをテーマに扱う。そして、英語を聴く訓練を通して話す能力を伸ばし、将来医師・歯科医師・薬剤師・看護師として活躍する際に必要な英語の総合力を培う。図書館、コンピューター室等の施設を利用することができ、いろいろな国々の人々と共にアクティビティーに参加することもある。また、英語圏の国の文化、歴史に対する理解を深めるために、さまざまな名所旧跡を見学する。

外国での生活から得た経験を通して豊かな人間性を養い、また国籍にかかわらず相手の立場を理解し、臆することなく自己を表現することによって友好的な国際的人間関係を築くことが望ましい。

・教育成果（アウトカム）

教養教育に求められる豊かな人間性の涵養の一環として行う。

1. 海外での生活体験を通して異文化に触れることで多様な価値観を学び、幅広い視点から人および物事を見ることによって自立の精神を養うとともに、能力・感性を培える。
2. 英語研修によって日本語を再認識することで、その能力向上を図るとともに、将来必要とされる患者との相互理解、信頼関係構築のための会話能力開発ができる。
(ディプロマポリシー：2, 7)

・到達目標（SBO）

1. 現地の人と英語で意思の疎通ができる。
2. 教室では間違いをおそれず積極的に発言できる。
3. 日本人とだけで集まることなく各国の人たちと積極的に交流することができる。

・成績評価方法

演習態度*(70%)・レポート(30%)

*演習態度の具体的な評価方法について、参加者募集説明会及び参加者対象説明会で説明します。

・特記事項・その他

研修先：英語圏の国（例：イギリス・オーストラリア等）

期間：3月の予定

宿泊施設：ホームステイ等

参加希望者は研修内容を理解するために、参加者対象説明会及び最終説明会（各1時間程度）に参加する必要があります。研修に関するレポート（感想文）については、後日、個別にフィードバックします。